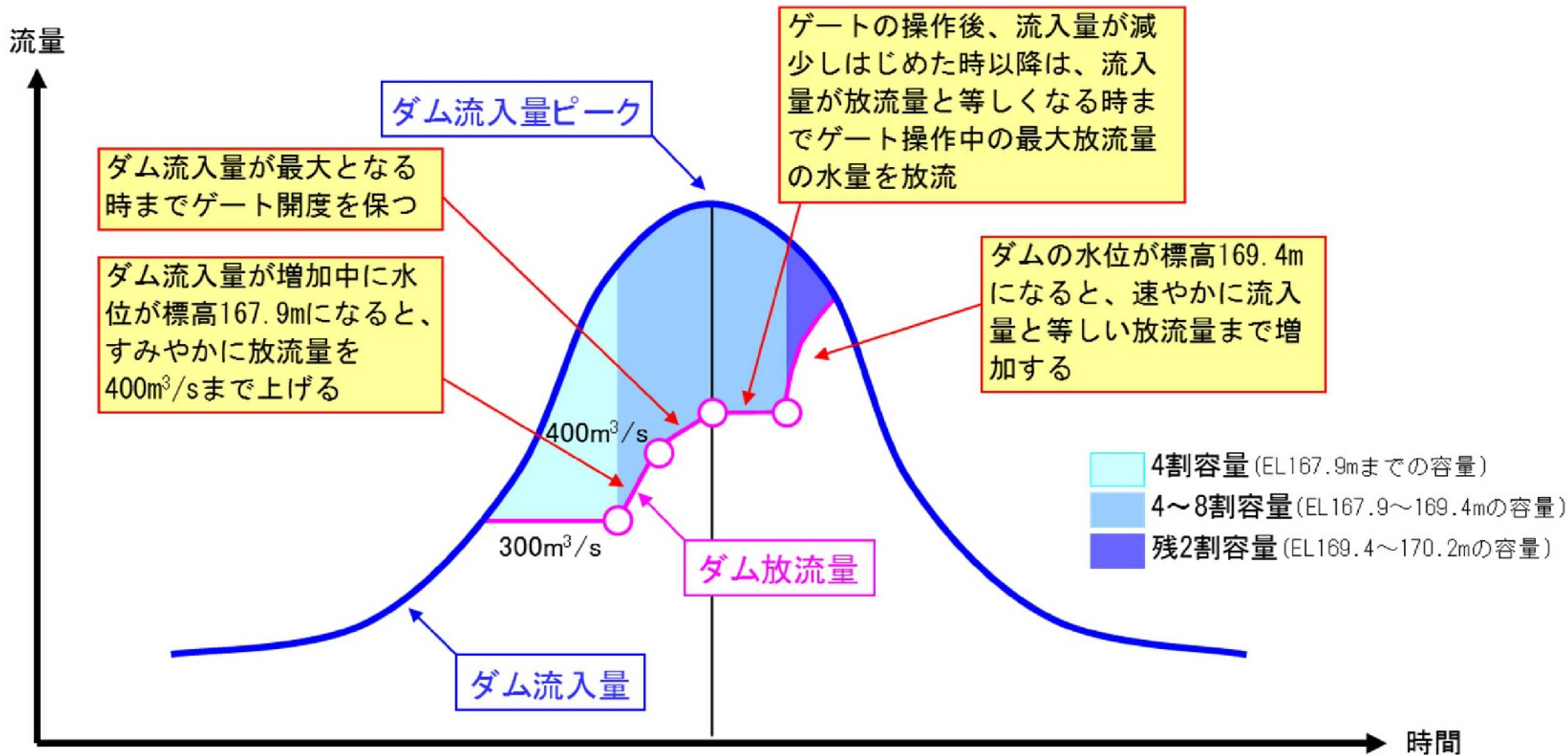


平成30年7月豪雨による 野村ダム・鹿野川ダムの防災操作

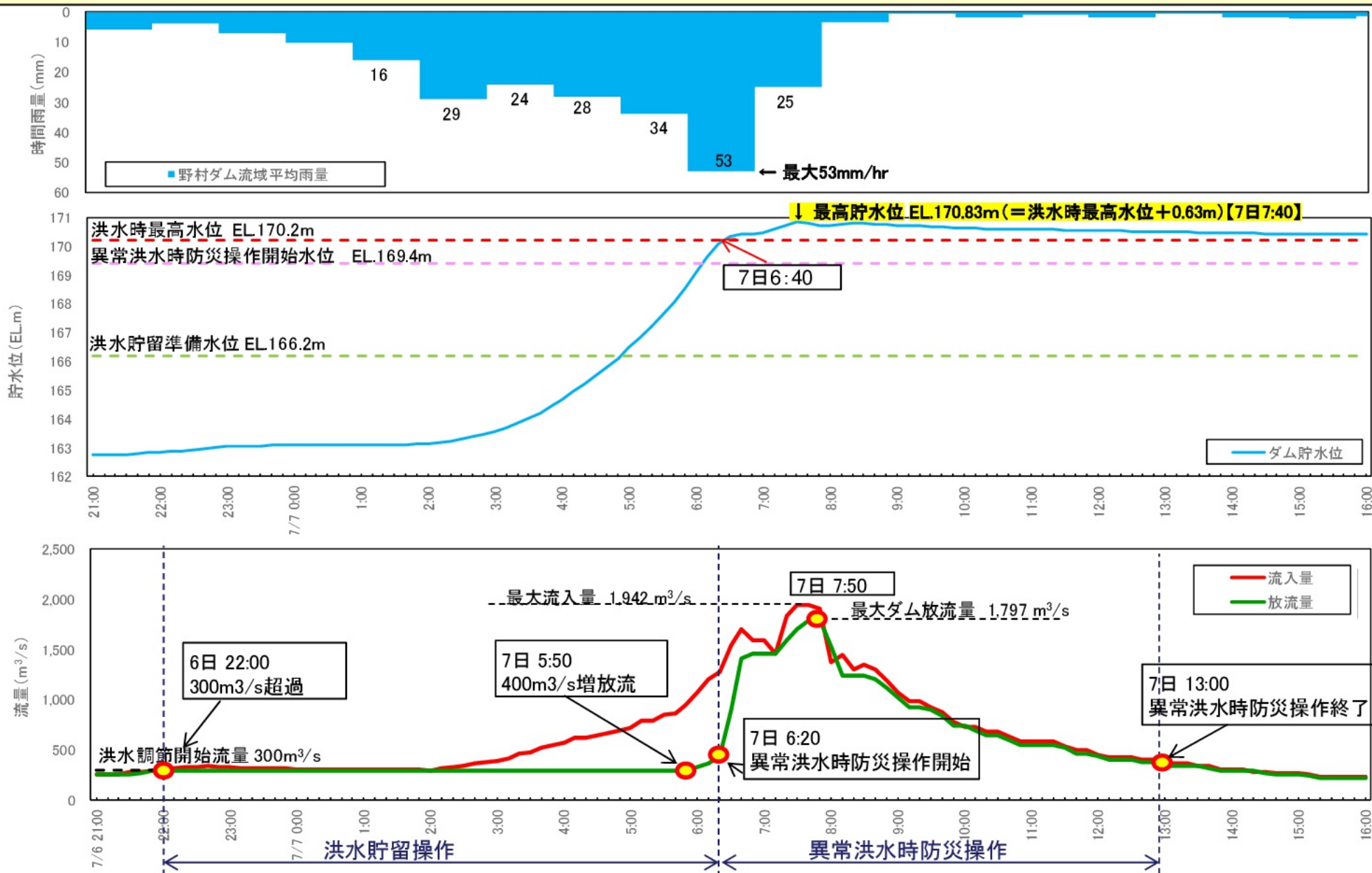
洪水調節計画(野村ダム)



現行洪水調節計画(野村ダム)

野村ダムの洪水貯留結果

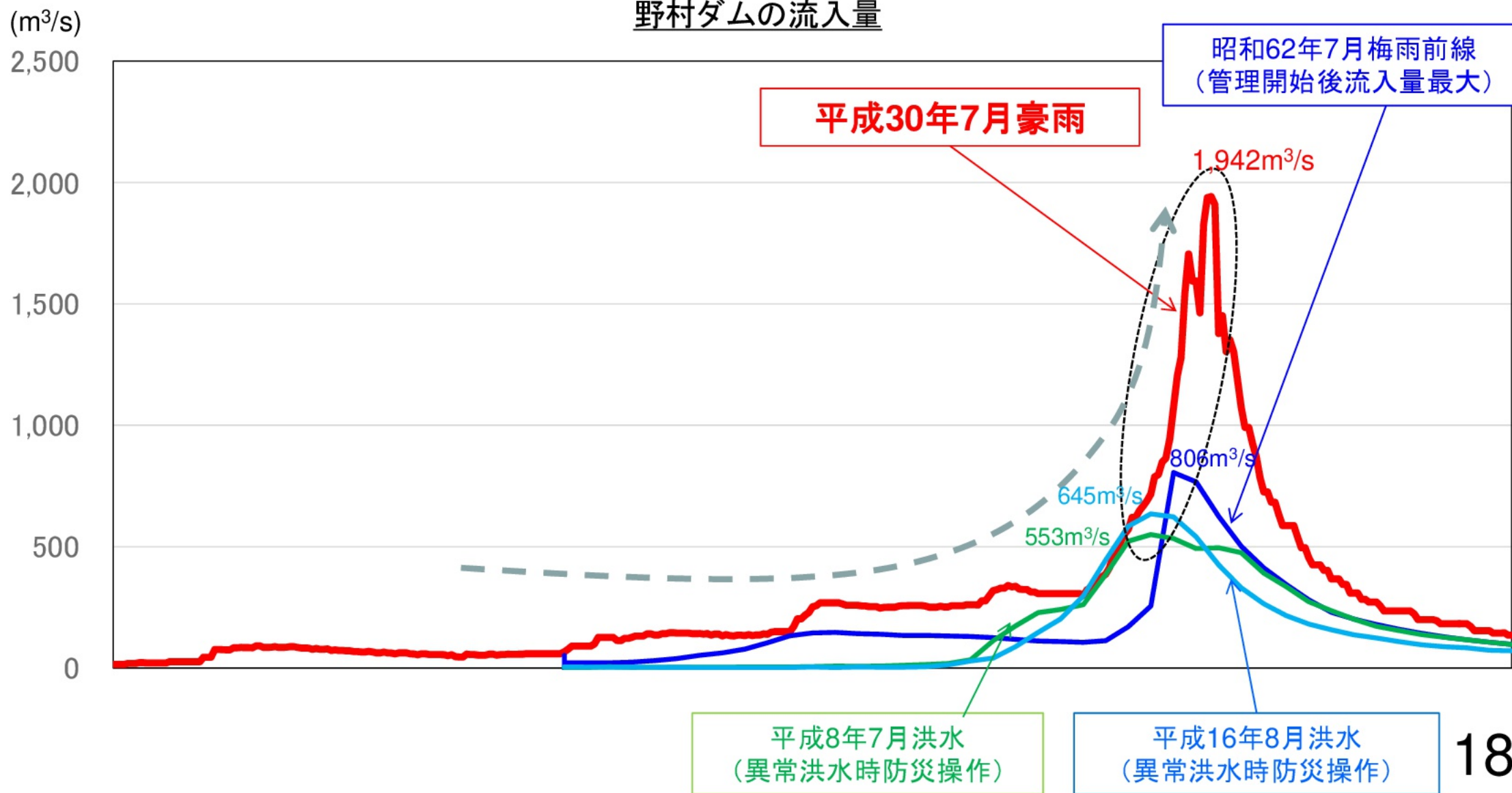
- 野村ダムでは6日22時00分に洪水貯留操作を開始し、7日6時20分より異常洪水時防災操作を開始。
- 7日7時50分に最大ダム放流量を記録し、13時00分に異常洪水時防災操作を終了。



野村ダムの流入量の特徴

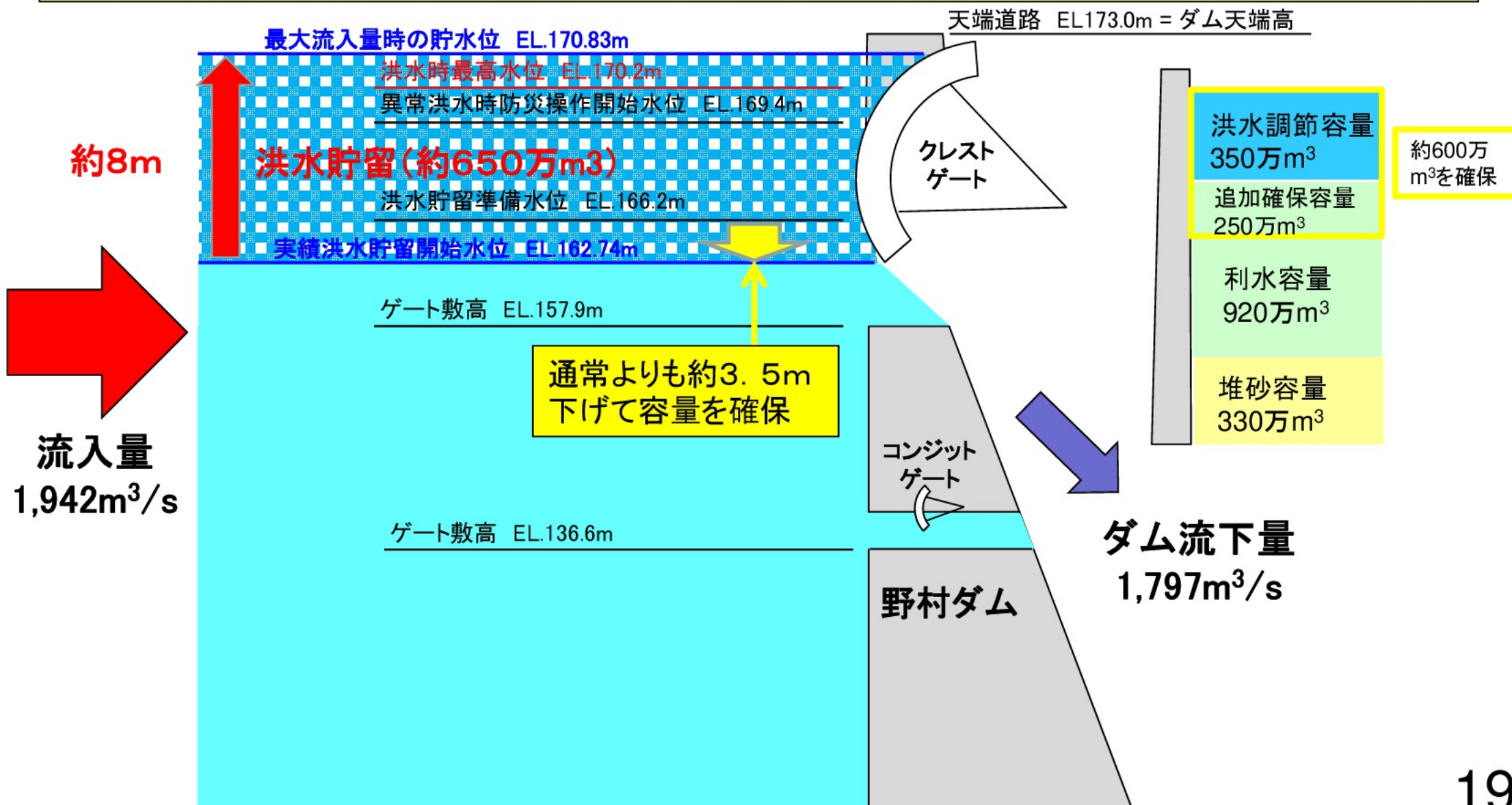
■平成30年7月豪雨における野村ダムの流入量は過去の洪水と比べて極めて立ち上がりが速く、管理開始後最大の流入量を観測。(既往最大の約2.4倍)

野村ダムの流入量



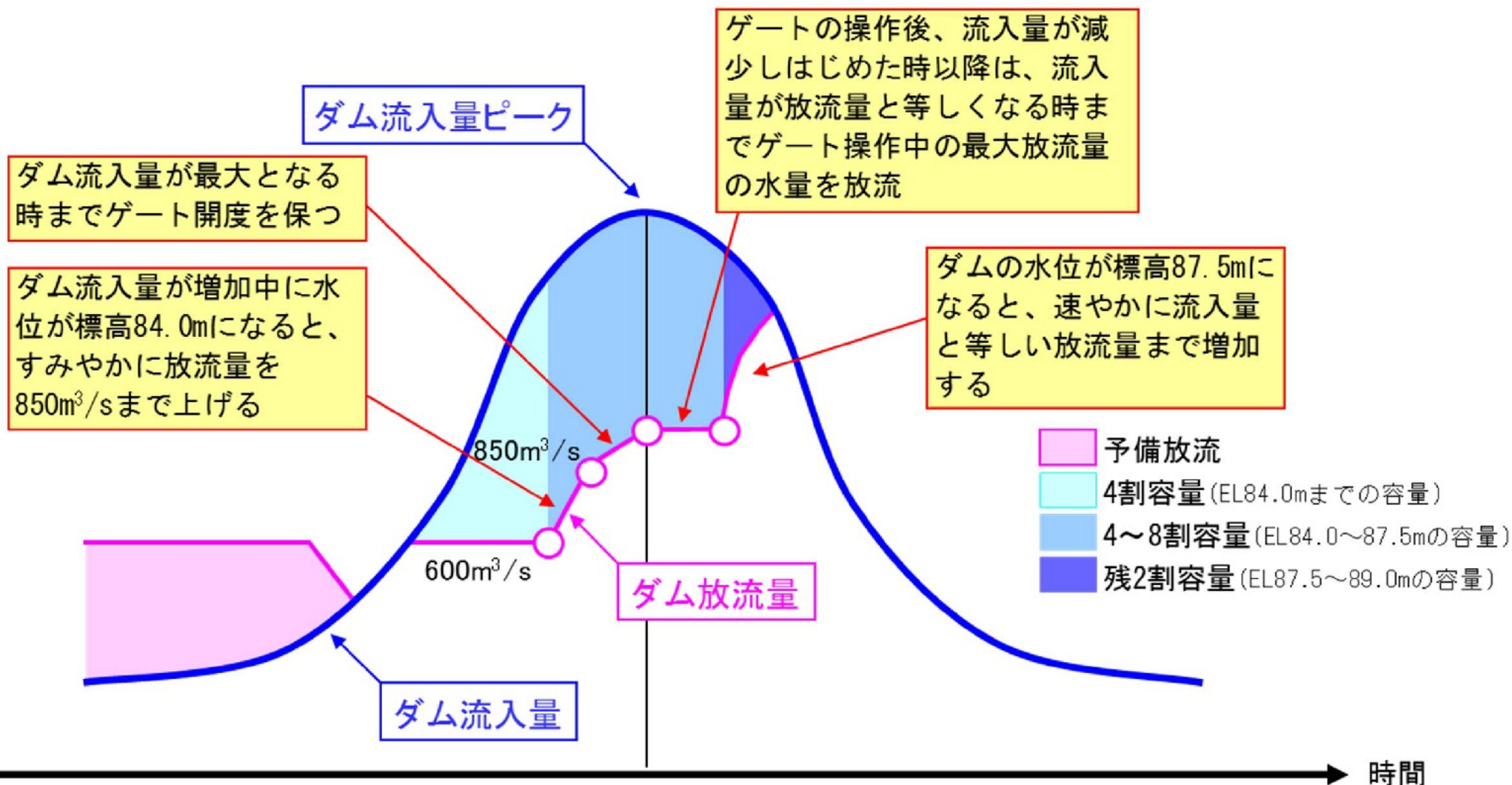
野村ダムの洪水貯留イメージ

- 通常の貯水位よりも約3.5m下げて通常の約1.7倍の洪水を貯留する容量(約600万m³)を確保。
- 今回、洪水時最高水位を超え、施設構造上最大貯めることが可能となる水位(171.5m)付近まで貯留。



洪水調節計画(鹿野川ダム)

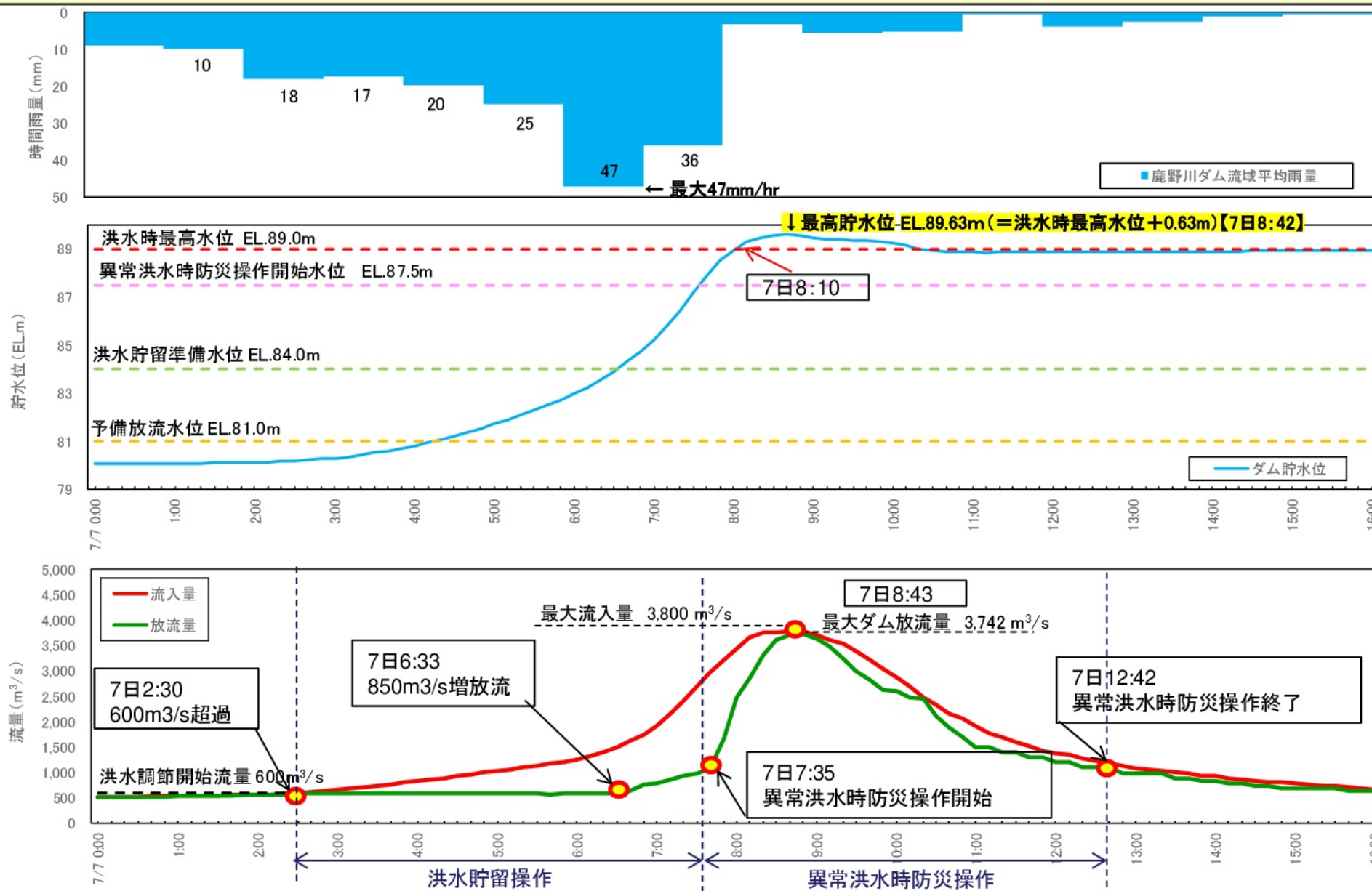
流量



現行洪水調節計画(鹿野川ダム)

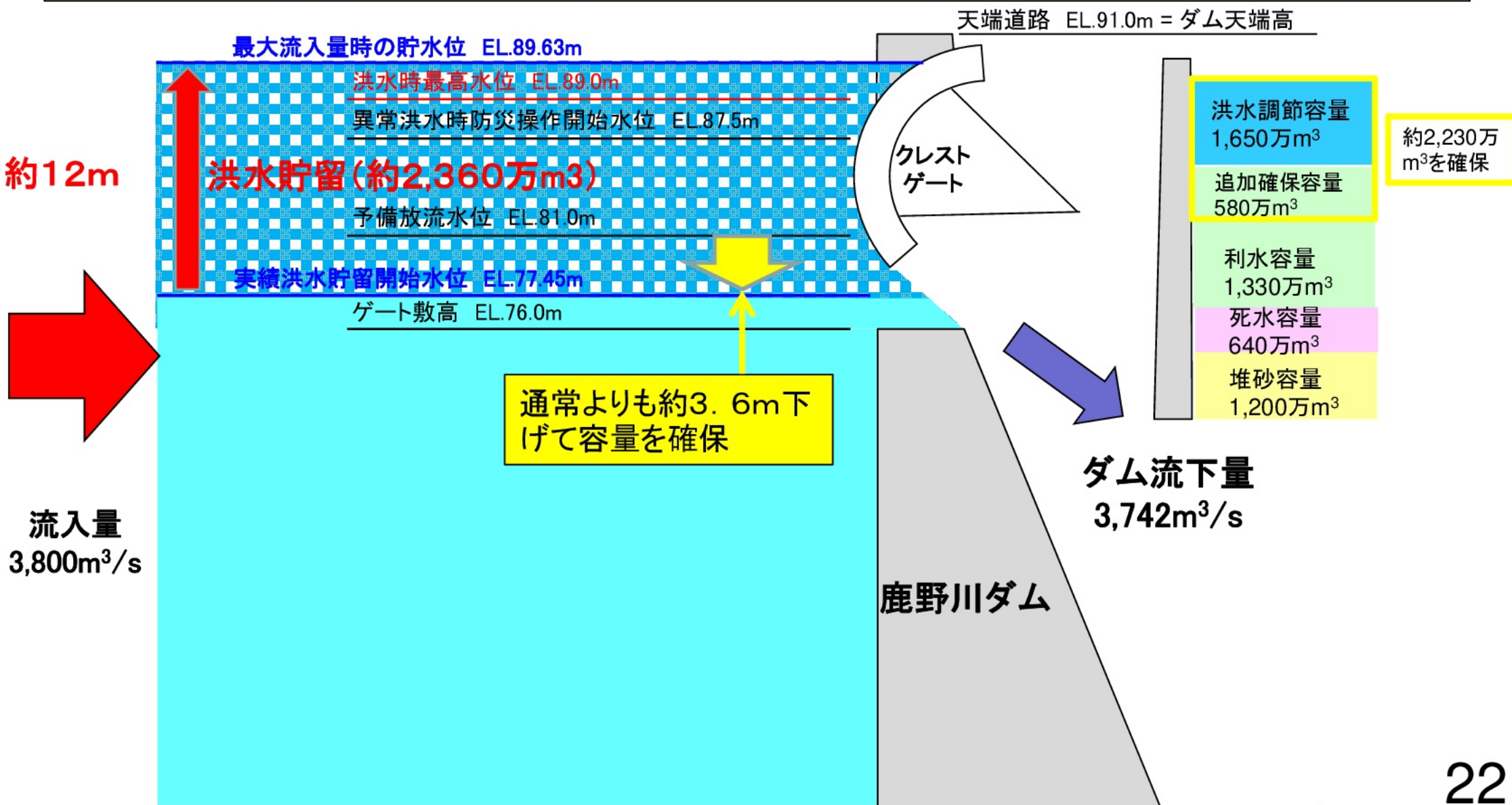
鹿野川ダムの洪水貯留結果

- 鹿野川ダムでは7日2時30分に洪水貯留操作を開始し、7時35分より異常洪水時防災操作を開始。
- 7日8時43分に最大ダム放流量を記録し、12時42分に異常洪水時防災操作を終了。



鹿野川ダムの洪水貯留イメージ

- 通常の貯水位よりも約3.6 m下げて通常の約1.4倍の洪水を貯留する容量(約2,230万 m^3)を確保。
- 今回、洪水時最高水位を超え、施設構造上最大貯めることが可能となる水位(90.1m)付近まで貯留。



洪水貯留状況(野村ダム・鹿野川ダム)

洪水貯留前

野村ダム

洪水貯留後

約8m

貯水位 EL.162.74m

東京ドーム約5個分の洪水を貯留 (約650万m³)

貯水位 EL.170.83m

洪水貯留前

鹿野川ダム

洪水貯留後

約12m

貯水位 EL.77.45m

東京ドーム約19個分の洪水を貯留 (約2,360万m³)

貯水位 EL.89.63m

23